

皆さまの日頃のご精勤に感謝申し上げますと同時に、今、世界中で病に苦しむ多くの方々とそのご家族の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

さて、今まさに私たちは新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下で仕事を続けております。ご存知の通り、このウィルスは今年の1月9日に中国武漢で発見され、瞬く間に世界中に拡がっていきました。厚生労働省から日本における最初の感染が報告されたのは1月16日でした。この社長レターを書いている5月6日現在、感染者数は世界全体で約360万人、死者数約27万人、日本では感染者数が約1.5万人、死者数556人となっております(ジョンズホプキンス大学及び厚生労働省HPより)。

緊急事態宣言の延長も発表され、まだまだ先の見えない不確かさや不安定さはあるものの、この新型コロナウイルスが収束する日は必ず来ます。厚生労働省の公表データから国内の感染者数の推移を見てみると、新規感染者が最大であったのは4月12日の720人であり、5月5日時点では123人と下降トレンドとなっています。また、感染者数が世界最大であるアメリカでも、直近5日間の平均を見ると感染者数の推移に下降トレンドが読み取れます。

では、アフターコロナの時代は一体どのような時代になるのでしょうか。この世界を覆う病が私たちに呼びかけていることは何でしょうか。『自分を知る力(三宝出版)』の著者である高橋佳子氏は、不確かで不安定な時代であるからこそ自分の内に確固たる中心軸、すなわち志と願いを確かにすること、そして、人と人との直接的な触れ合いが制限された今だからこそ人間の絆を深く問い直し、真の絆を育むことが大切であると述べていらっしゃいます。そして、アフターコロナの時代は、志と願いによって人々が結ばれる共同体や企業が強くなることを指摘されています。

私たちユニティガードシステムも、そのような時代の呼びかけをしっかりと受け止め、志によって結ばれる会社でありたいと願わずにはおれません。

さて、今月のゆにてい日和は永年勤続表彰の特集号となっております。多くの皆様の長年のご精勤に対し、心から感謝申し上げます。例年であれば直接お会いして感謝を申し上げるところですが、今年はコロナの影響で表彰式も延期となりました。まだまだ時代は不確かで不安定ではありますが、是非、内なる中心軸を確実にしつつ、志と願いによって結ばれる共同体、みんなが幸せに生きる会社、ユニティガードシステムを共に作ってまいりましょう。

代表取締役 八木 陽一郎

